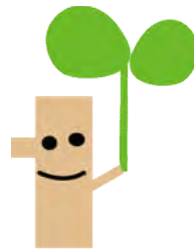


平成24年度

2月報告

親サポ



日時：平成25年2月16日(土)

～みんな、一緒に考えよう～

テーマ：『ひきこもりは病気じゃない。』

講師：敦賀短期大学教授 龍谿乗峰(たつたに じょうほう)氏

2月の親サポは、敦賀短期大学の龍谿乗峰先生を講師にお招きして、「ひきこもりは病気じゃない。」というテーマでお話していただきました。

まず、先生は2000年前後に、若者の社会不適応ということが言われるようになったことにふれ、この頃、厚生労働省が「ひきこもり、とじこもり」という表現で、その社会不適応の若者を言い表すようになったことに触れ、その定義づけにも触れました。この言葉は、ある状態を指す用語であり、定義の一つに、家族以外の人と6ヶ月間以上親密にない状態を指す現象という意味があります。また、その他に、病気等が認められる場合もありますが、基本的には、外部の刺激を受けなくなるようになるという特徴があるとのことでした。



例えば、風邪をひくのは様々な要因があり、どの要因からも風邪という病気をひき起こすことになるという「等結果性」という言い方があります。同じようにひきこもりという状態も、様々な要因によって引き起こされるのですが、ひきこもり状態が長期化することでも、様々な症状を引き起こす場合があると言います。例えば、人が怖いと感じるとか、人と話さなくなることが見られます。

先生の若い頃の経験で、関東に行くと福井という土地を知る人は少なく、福島県や福岡県と勘違いされることが多々あったそうです。また、嶺北地域の言葉は、アクセントがなく、箸や橋という言葉も同じ発音であるため、他県の人には言葉が通じないという事があります。その頃、先生は人と話すことが億劫になり、駅で切符を買うのも嫌で、帰省すらしなくなったこともあったそうです。こういった地域的な文化の違いが、人との関わりを避けさせることもあるという例です。また、家族の親密度が高いというのも福井県の特徴で、家族間の依存度が高いことが挙げられるそうです。このことが、結果としてサポステなどの支援機関に保護者の方の相談が多い理由とも言えるのかもしれませんが。

そこで先生は本人(若者)支援のために、その家族構成全体のバランスから支援することを心がけています。一つの事例を挙げ、本人を支援するため、父親の悩み事に焦点を当て、その父が頼りにしている県外の姉に協力を得て、本人を買い物に連れ出すことに成功し、自立した話をされました。

この事例をきいていた参加者から質問が挙がり、親の本人とのかかわり方の是非について、先生との間で意見が交わされました。このやり取りの中で、先生は家族の中にヒントがあることを指摘され、親の都合で関わらないことが大切であると念を押されました。

親御さんからの訴えを聞いていると、親子の間の価値観の違いから衝突が起きているように見受けられました。例えば、親として心配だからといって、本人の部屋に無断で入ることは、本人さんの心の領域を侵すことになる場合があります。また、本人さんが「人が怖い」と訴えることに対して「そんなことないって、怖くないよ!」といったような返答は、関係の悪化を招きます。

子供の部屋には本人を尊重して入らないとか、「今は人が怖いよね」と本人の気持ちを肯定することも大切だということです。先生は、ひきこもりから社会復帰するにも道程があることを説明し、ワークシート記入を通じて、わが子のひきこもり現象に対して、見つめなおす機会を設けました。

率直な胸のうちの綴られ、皆さん、それぞれ苦心されている様子でしたが、先生のお話に共感できることもあり、安堵を感じた方、課題を再認識した方など、有意義な時間をすごせたのではないかと思います。

参加された皆さんの感想

- * あてはまることばかりで、勉強になりました。
- * なんでも押えつけてしまうことで、大事なことでまでダメになってしまうということは、とても痛感しました。

平成25年度

親サポ

(親のためのセミナー)

～みんなで、一緒に考えよう～



ふくい若者サポートステーション「サポステふくい」は、若年無業者の方への就労支援を行う機関です。ご本人への支援はもちろんのこと、ご本人を支える親御さんの方々への支援も行っております。

今年度も、毎月第3土曜日にセミナーを予定しております。講師による講話の他、グループワークや参加者同士の交流会など、同じ悩みを抱える方々同士の交流や情報交換等をしていただく時間を設けています。

「親子関係はどうあったら良いのか」、「子どもとどう接していけば良いのか」、「解決に向かうにはどうしたら良いのか」など、一緒に考えていきませんか？ ぜひ、ご参加ください。

- 対象：若年無業者のお子さんを持つご家族の方
定員：20名
場所：福井県社会福祉センター内（福井市光陽）
日時：毎月第3土曜日 13:30～16:00
内容：講師によるセミナー50分・グループワーク50分

リラックスタイム（フリー交流会）30分

予約方法：(0776) 21-0311・(0770) 24-2130

事前にふくい若者サポートステーションまでお電話下さい。



3月のセミナー 平成25年4月20日 開催

セミナー講師 サポステふくい 総括 白崎久美 氏

【お問い合わせ】



ふくい若者サポートステーション 『サポステふくい』

〒910-0026 福井県福井市光陽2丁目3-22

福井県社会福祉センター 1F TEL:0776-21-0311

サテライト（嶺南地域対象の相談窓口）

〒919-1504 三方上中郡若狭町大鳥羽 27-13-4

JR 小浜線大鳥羽駅舎内【若狭ものづくり美学舎】

TEL:0770-64-1788